



学校だより

3月号
横浜市立桜台小学校
令和5年2月28日発行

心のつぼみ

校長 小宮 健

月日の経つのは早いもので、令和4年度の学校生活も残すところあと十数日となりました。毎年この時季の朝、子供たちを出迎えるときに、校門を通り過ぎる1年生の後ろ姿を目で追うと、背負うランドセルの蛍光色のカバーが何となく不釣り合いに映るようになります。入学してからの月日の中で心も体も成長して、たくましささえ感じられるようになってきたからなのでしょう。

どの学年もこの1年間を振り返って、成長したことを互いに分かち合い、讃え合い、次年度への期待と向上心を抱く3月であってほしいと願っています。

6年生の各教室には手作りの日めくりカレンダーが掲げられ、卒業までのカウントダウンが始まっています。

今年も1月下旬からお昼の時間に4～5名ずつの6年生たちとミーティングをしてきました。一人ひとりから「6年間の小学校生活での思い出」「中学校に向けての抱負」「これまで過ごしてきた桜台小学校に残していきたい想い」、そして「将来の夢」を聴かせてもらいました。

うれしかったのは、「夢」を語れる子が多くいたことです。

また、「やりたいことはまだわからないけれど、こんな人になりたい」と言える子もいました。「まだわからなくても、これからの人生できっとやりたいことが見つかると思うから…焦らなくて大丈夫だよ」と伝えました。

「夢」を叶えるための要素はいろいろありますが、絶対に必要なのは自分の「夢」を持つことです。そして「夢」とは未来に向けて抱く「心のつぼみ」だと思ふのです。

いつの日か、その「つぼみ」から花を咲かせてほしい…。

本校を巣立っていく82名に、卒業ソングの定番の一つである『旅立ちの日に・・・』
〔作詞・作曲：川嶋あい〕という曲からのワンフレーズ[♪]を贈ります。

いつのまにか時は流れ
もう今日は卒業の日
人はいつか旅立つもの だけど



今始まる 希望の道
今日までありがとうね
思い出の校舎と別れを告げ
今新たな 扉開き
はるかな年月経て
つぼみから花咲かせよう
つぼみから花咲かせよう

3月17日（金）の第67回卒業式では、一人ひとりに心を込めて卒業証書を渡したいと思ひます。

皆様、今年度も本校の教育活動にご理解・ご支援を賜りまして誠にありがとうございました。令和5年度も桜台小学校をどうぞよろしくお願ひいたします。